

西学園だより

令和5年3月16日



雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校

【文責 表面 梅木 裏面 小田】

お世話になった6年生へ感謝の気持ちを

3月1日（水）に6年生を送る会を行いました。今年は、体育館に全校児童が集まって実施しました。6年生は、この一年間学校のリーダーとして活躍しました。毎日行う委員会活動や縦割り班活動、運動会などの学校行事においては、下学年のことを



2年生からの歌のメッセージ

を思いやりながら全校を引っ張る姿が印象に残っています。当日は、各学年が、クイズ、歌、踊り、応援エールなどの形にして感謝とお祝いの気持ちを伝えました。今年度も、全校が集まる機会やみんなの前で発表する機会が少なかったのですが、どの学年も真剣な表情で、気持ちを伝えることができました。全校が集まることや気持ちを直接伝えることの良さと大切さにあらためて気づく時間となりました。



感謝のくす玉

今年度を振り返って

令和4年度も終わろうとしています。今年度もコロナ禍の中で制限されることが多い一年でしたが、保護者や地域のみなさまには、様々な面でご協力をいただきました。ありがとうございました。

学校ではこの一年を振り返り、ご協力いただいた児童アンケートや保護者アンケートを参考に教職員で自己評価を行い、学校評議員のみなさまに評価結果について意見をいただきました。今年度の振り返りと来年度の課題をまとめましたのでお知らせします。

【今年度の振り返りと来年度への課題】

<確かな学力の育成>

- 「児童は自分の考えをいきいきと発表している」というアンケート項目の肯定的評価が、保護者90%、教職員65%と捉え方に差がありました。また、「めあてをもって進んで学習している」の項目は、保護者63.6%、教職員は70%と高くない結果でした。授業の中で、児童の思考をゆさぶる問いかけをしたり、自分の考えを思いめぐらす時間を確保したりするなど、児童が「考えることは楽しい、仲間と一緒に考えることはもっと楽しい」と思える授業改善に努めたいと考えます。さらに、今年度十分できなかった学習公開を開催し、児童の取組の様子を公開していきたいと考えています。
- 全国、県、学校独自の学力調査では、全体的にみると全国等の平均と比較して低く、学習したことがそのときは分かっているにもかかわらず定着していないという課題が見られました。一方、高い結果が出ている学年もありました。その学年は、家庭学習を学習終了後だけでなく、年間を通して繰り返し取り組みました。学力の定着を図るためにも、全校で反復学習等の家庭学習の取組を工夫していきたいと考えます。

<豊かな心の育成>

- 挨拶について、地域やPTAによる挨拶運動の様子からは、もっと大きな声をという課題は依然あります。しかし、学校評議員から、学校の帰りや児童が遊びに行く途中など、地域で元気に挨拶をしているという話を伺いました。知らない人に挨拶をすることは難しい面があります。児童と地域のみなさまとがもっと顔見知りの関係になることが大切だとも考えています。児童への声がけを引き続きよろしく願います。

<心身の健やかな成長>

- 以前の学園だよりでもお知らせしたように、児童の健康課題は、むし歯（全てのむし歯の割合は減少傾向にあるが、全国比だとその割合は2倍）と視力の低下（1.0未満の児童の割合が増加、中でも0.3未満の児童が増加傾向）です。元気アップカードの結果からは、多くの児童が歯磨きに取り組んでいるようですが、そのやり方に課題があるようです。一方、今年度PTA保健体育部では、メディア時間を減らすだけでなく、減らした時間をどのように使うか目標設定をして取り組みました。ただやるのではなく、意味を持った取組ができるよう、今後もPTAと協力していきたいと考えます。